

問 補助金見直し検討委員会が設置されたと聞くが、その構成メンバーは。

総務課長 委員長に佐賀大 学助教授、他に税理士、市 職員OB、民意を反映させ る意味で、公募市民2人、 合計5人である。

問 この委員会で、どのよ うな検討をされたのか、ま た今迄に何回開催された のか。

総務課長 昨年の10月から 審議を開始し、3月に中間 答申として、基本的な考え 方を提出してもらい、基本 原則となる公共性、効果、

補助金交付金の削減の 進み具合は

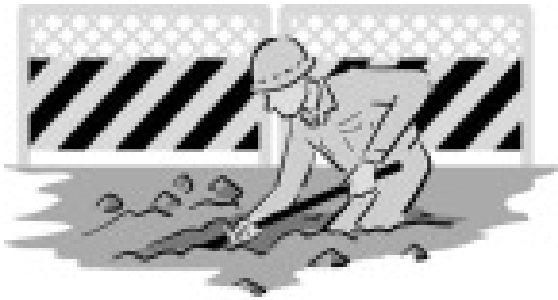
坂本 好教 議員

それからの確性、妥当性、 こういうものを中心に5回 の審議を行い、提言書を出 してもらった。

問 補助金総額の20%を目 標に削減するところがあるが、今 後の進み具合は。

総務課長 補助金総額2億 8千万円の内、1億3千万 円の補助金について、審査 を頂き、13%程度の、3千 600万円程度の削減にな っている。残りの補助金に ついては、19年度で調整し、 20年度予算に反映をしてい く。

地元施工補助制度を 早急に



問 地元施工補助制度と は。

道路課長 地域の生活道路 の整備で、地域の住民によ る整備がなされる場合、補 助を行う制度で、その工事 に係る諸費用に補助を行う 制度である。

問 この制度は、18年度検 討、19年度実施とあるがそ の見通しは。

道路課長 地元施工補助制 度を行っている他市を調査 し、筑後市としての施工基 準を現在検討している。問 題もあるので、もう少し検 討が必要である。

税金の無駄遣いはなくせ

若菜 道明 議員

問 現在、官製談合が問題 になっている。市発注工事 の落札率は96%以上が依然 として全工事の80%を占め ている。これは業者を守ろ うとの姿勢が市側にあるか らだ。落札率が76%の工事 もあるが完成度はどうか。 全工事の落札率が76%に下 がれば経費はいくら減るか。

助役 落札率76%の工事も 立派に完成している。

会計課長 全工事の落札率 が76%になれば年間3億円 の差となる。

問 正規職員を配置してい る窓口案内の件費は年間 700万円以上だ。非職員 に対応すべきだ。各行事等 への市職員の勤務時間内動 員も見直し経費を削減せよ。

市長 習慣で行っている各 行事等へ市職員の勤務時間 内動員は今後廃止していく 努力をする。

問 新幹線船小屋駅の建設 までには期成会から負担金 を取ると答弁していたがど うなったのか。

市長 船小屋駅誘致期成会 からの建設負担金は入らな くなった。総務省より期成 会からの建設負担金は禁じ られているため寄附金とな る。

問 市長のパフォーマンス 的な給与減額は条例の本則 を改正して行うべき。

市長 見解の相違だ。審議 会の答申は据え置きだった が財政がひっ迫しており附 則で減額している。

問 附則での給与減額につ いて審議会の意見は。

市長公室長 市長等の給与 減額は条例の本則を改正す べきとの意見も出された。



正規職員が行っている総合案内窓口